

(特別講演)

皮膚科医として期待する化粧品業界のこれから

What a dermatologist expects from the future of the cosmetics industry



友利 新 (ともし あらた)

医師 (内科・皮膚科)

梅花女子大学 客員教授／東京薬科大学 客員教授

日本コスメティック協会顧問 シロノクリニック他勤務 友利産婦人科理事

Arata Tomori

Doctor (Internal Medicine, Dermatology)

＜略歴＞ 沖縄県宮古島出身

東京女子医科大学卒業。同大学病院の内科勤務を経て皮膚科へ転科。

2004 年第 36 回準ミス日本。三児の母。

2014 年の出産を機に、自身の子供に安心安全なスキンケア商品を、との思いから「ベビー予防スキンケア」というコンセプトで、自ら研究開発、商品化し、起業する。

2016 年第 9 回ベストマザー賞【経済部門】受賞。子育て応援・ママ応援大使。

2019 年宮古島大使を拝命。現在都内 2 カ所のクリニックに勤務の傍ら、医師という立場から美容と健康を医療として追求し、美しく生きる為の情報発信を雑誌・TV・SNS で展開中。美と健康に関する著書も多数。美容各誌のベストコスメ審査員を歴任。

私は皮膚科医として、美容医療とスキンケアの両面から患者の肌悩みに向き合う一方、美容雑誌のベストコスメ審査員を 15 年以上携わってきました。2020 年から YouTube を初めて様々な製品を紹介。いろいろなブランドの研究者の声、そして消費者の声をたくさん聞いてきました。これまでの化粧品業界では、ブランドのイメージや使用感が重視され、科学的根拠よりもフィーリングを重視していました。しかし、近年は成分に対する関心が高まり、SNS の影響もあり特定の成分がブームになる現象が起きています。海外、特に韓国ブランドはブームをいち早く取り入れ新製品をスピーディーに市場投入し、日本のブランドの脅威になってきています。日本には高い技術力があるものの、薬事法の規制が厳しく、その実力が十分に伝わっていません。今後は、日本の技術力をしっかりと伝えていくことが課題だと認識しています。肌解析技術の進化により、一人ひとりに最適なスキンケアを提案する時代へ。美容医療との共存が不可欠となり、化粧品と医療の役割を明確にしながら、両者が補完し合う関係性を築くことが求められるのではと考えています。

As a dermatologist, I have been dealing with patients' skin problems from both the perspectives of cosmetic medicine and skincare, while also serving as a judge for beauty magazines' best cosmetics for over 15 years. In recent years, interest in ingredients has increased, and due to the influence of SNS, certain ingredients have become popular. Overseas, especially Korean brands, have quickly adopted the trend and quickly launched new products on the market, becoming a threat to Japanese brands. Although Japan has high technological capabilities, the Pharmaceutical Affairs Law is strict and its capabilities have not been fully conveyed. With the evolution of skin analysis technology, we are entering an era where we can propose the best skin care for each individual. Coexistence with cosmetic medicine has become essential, and I believe that it is necessary to clarify the roles of cosmetics and medicine and build a relationship in which the two complement each other.